

個の集積からの都市情報化に関する研究と提案

A study on the realization of urban dynamism based on the analysis of individual urbantissues

石川幹子・小林博人研究室

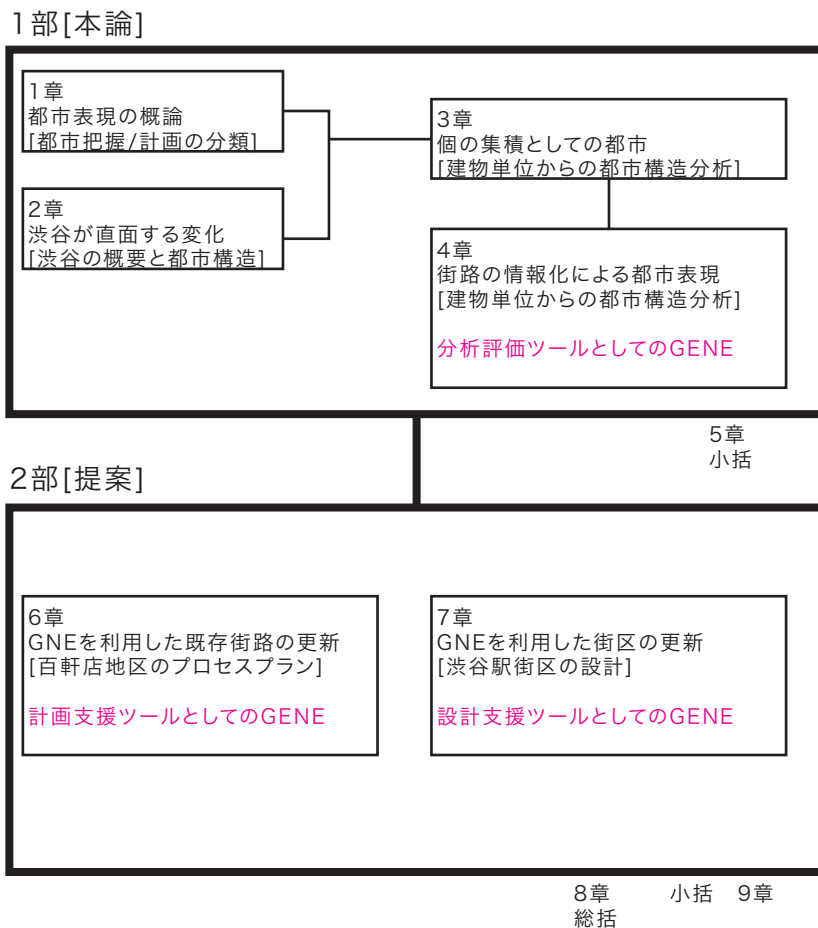
今井亮介

論文要旨：

本研究は都市を建物や個々のプログラムの集積と捉え、それに線状構造を与えている街路を軸に、都市のにぎわいや空間要素を情報化し、その情報の都市更新への利用を試みるものである。これを達成する手段として本研究では GENE(ジーン)という、街路をフォーマット化し並記比較、数値比較を行い客観的に複数街路間の差異やその総体としての都市を把握できるツールを開発している。

論文の流れ：

本研究は2部構成になっており、1部で個の集積から都市を把握するツールとして GENE を利用している。2部では GENE を利用した都市更新のシミュレーションを行なっている。



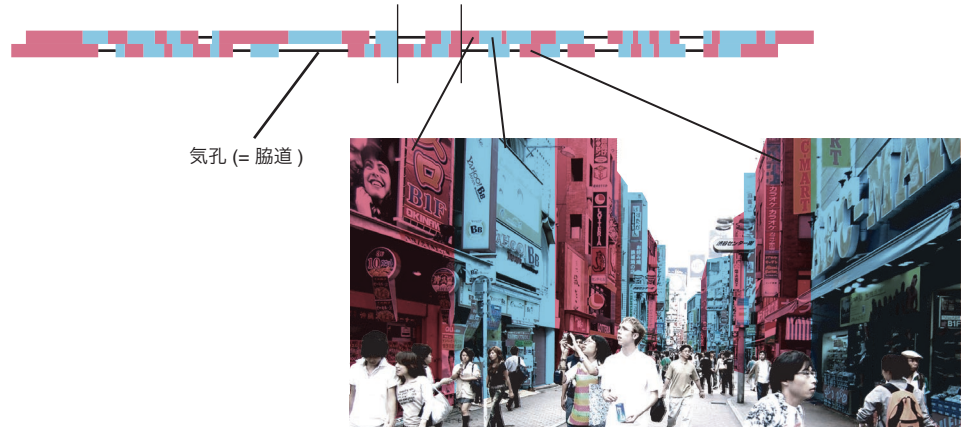
GENE の定義と特性：

定義

建物／プログラムの1単位ごとの情報を街路を軸に線状化したもの。

特性

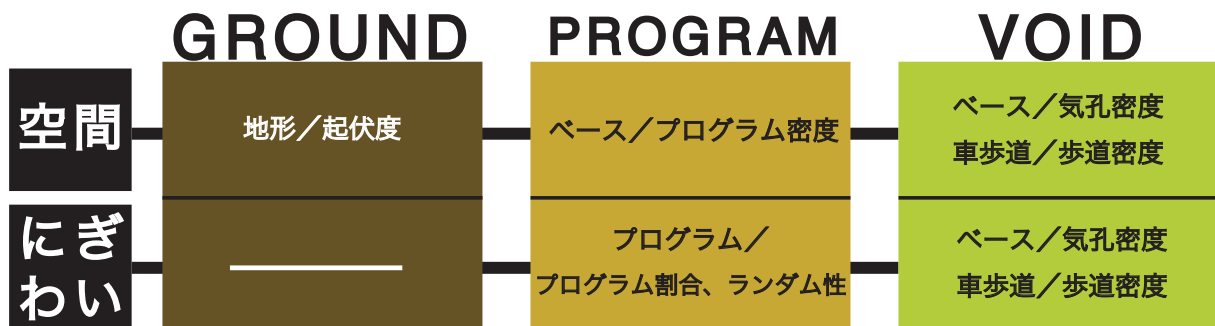
建物単位の情報の組合せから、都市の情報を読み取る。



図： センター街の建物密度を表した GENE

都市の魅力：

都市の魅力はそのオリジナリティとも言える空間上の特徴とその中に入っているプログラムによるにぎわいから構成されている。商業的都市においては、その特徴的構造のみでは、人が集まってくる事はない。逆に、にぎわいを構成しているプログラムの要素だけでは、ショッピングモールのような単調な空間になってしまう。都市の魅力はこの両者を高次元で融合させたものであり、この2つの「人を引きつける要素」であるにぎわい構成要素と「人を惹き付ける要素」である空間構成要素の価値を理解し、更新を進めていく必要がある。本研究ではこの2要素をグラウンド、プログラム、ヴォイドの3つに分類している。

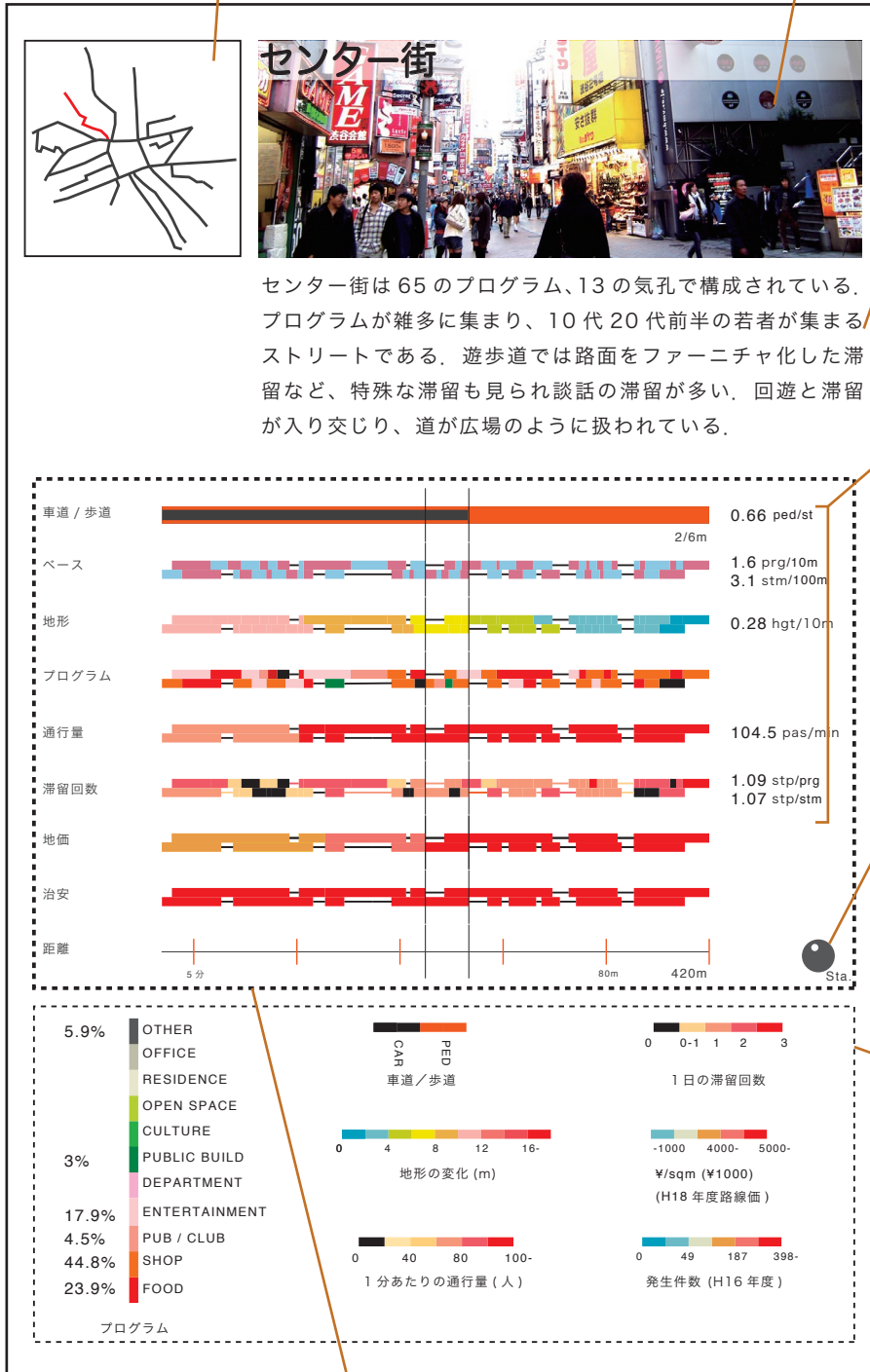


図： 都市の魅力構成要素

GENE のデータシート例：

・ GENE 化している街路を示す。

・ 駅方面から見た街路景観。



・ 街路のコメント。
雰囲気や歩行者の年齢層、特徴的滞留パターンなど記述。

・ 定量化した情報

・ 駅のアイコン。
GENE に対して駅の方向を示す。

・ 各尺度情報の凡例。
プログラムに関してのみ割合の記述。

・ 各尺度の GENE を記述。
車道 / 歩道 GENE のみ実際の割合で太さが変わる。

各 GENE における計算式と単位の概要：

